

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
 労働会館東館3F
 TEL 052-871-5433
 FAX 052-871-5618
 URL http://www.airoren.gr.jp
 発行人 樽松 佐一
 第99号 2001年9月20日

秋の主なとりくみ

労基法周知・徹底月間——10月
 働くルール確立10.3統一行動——10月3日
 自治体キャラバン——10月16日～19日
 全労連全国キャラバン愛知入り——10月12日～13日
 国民大集会——10月23日
 怒りの霞ヶ関中央行動——10月24日
 秋の組織拡大月間——10月15日～12月15日
 全労連第3回全国討論集会——11月8日～10日



内部留保8兆円

NTTが10万人リスト

小泉流「構造改革」のNTT版

許せない！50歳定年賃金カットで再雇用

「手取りは三十万円そこそこ。子どもたちの学費と借金の返済で今でもギリギリの生活なのに、二五%カットなんてされて、もうやっていけない」と語るのは、NTT西日本名古屋東支店に働く丸山栄一さん（五七歳）。

いま、NTTは政府の肝いりで「三カ年経営計画」を発表し、NTTグループ全体で十万人の労働者を削減する合理化を提示しています。NTTの中心的業務である一六電話受付、一三故障受付、料金業務などを子会社化し、そこに五十歳以上の社員をいったん退職させ、賃金を二割三割カットして再雇用するというものです。

「NO」と言えばつぶせる

「今回の会社のやり方には弱点があるんです」と語るのは、NTT西日本東海電報営業支店に働く大塚進さん（五九歳）。

今回の計画で、五十歳以上の人たちに選択が迫られているのは、大きくは二つの道で、退職し賃金カットで再雇用の道を選ぶか、広域配転や職種転換を迫られるがNTTに残る道で、「本人の希望で選択しない」として拒否する道です。

働くルール署名本格的におくれた実態知らせれば気軽にサイン

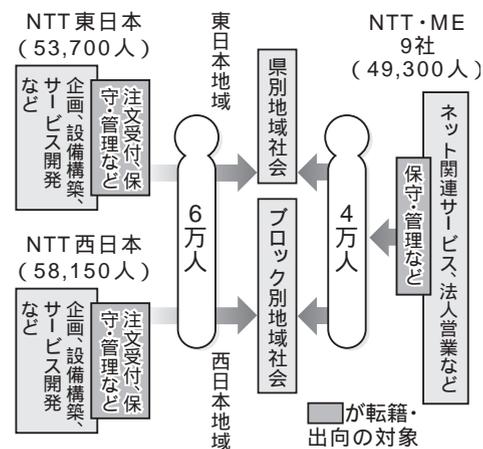
愛労連第二十五回定期大会で、働くルール署名が提起されて二カ月が経ちます。各組合では、三年度で愛知の労働者の過半数突破を視野に、職場と地域に影響力を与える数を目標にした議論と取り組みの具体化が始まっています。

労働条件の改善父母とともに

建交労字輩保育支部は九月三日、学習会を支部の執行部や分会の分会長・書記長を対象に四十五名の参加で開催し、「知らないことがいっぱいあることに気がつきました。もっと多くの仲間にも知らせたい」と感想が寄せられています。

この職場でも労働条件が切りつめられているなか

50歳で『ポイ』はルール違反



NTT10万人リスト計画

公務員制度改革シンポに106人

愛労連と公務員制度改革阻止共同会議は9月7日、名古屋市中区の名古屋市女性会館ホールで公務員制度改革を考えるシンポジウムを開催し、民間組合からの参加を含め百六人が参加しました。

主催者あいさつにたったのは、「これまで勝ちとってきた働くものの権利が大変な勢いで後退させられようとしているが、今回の公務員制度改革もこうした攻撃と一体のものだ」「公務も民間も共同し、働くルールを確立する運動をさらに強めよう」と訴えました。

シンポジウムでは、小田川義和さん（国公務連書記長）、村田和穂さん（通信労組愛知支部前委員長）、大平敬也さん（JMIU愛知地本書記長）の三氏を迎え、公務員制度改革の内容と問題点や民間職場での新人事制度導入の実態などが報告されました。公務員制度改革の狙いについて小田川氏は、「人事管理の民間化として競争主義や成果主義がもち込まれようとしており、国家公務員が憲法に定められた、国民全体の奉仕者から政府の奉仕者へと変えられようとしている」と強調しました。

働くルール署名11月末までに組合員の2倍11万人を突破しよう

「バス残業も改善されない状況にあります。支部では、四千五百世帯の父母たちに組合ニュースを届けていますが、権利の問題でも多いに知らせ、署名を訴えていくことになっています。」

全印総連東海共同印刷労組では、署名のとりくみに勢いをつけようと、八月二十五、二十六日の両日、瑞穂区でおこなわれた瑞穂親



きずなの森清さん

あまりにひどい実態ゆるせない

「バスチック整形工場で働き、地域労組きずすなに加える森清さん（七二歳）は、すでに一人で二百筆を超える署名を集めて奮闘しています。」

森さんは以前、万博県民投票署名で百八十筆を集めたそう、「今回の署名は印鑑もいらんし、集めやすいから万博署名の倍は集めたい」と働くルール署名に自分の目標を持ってとりくみ

最低賃金のお知らせ

愛知県最低賃金が以下のように決定。
 県下で働くすべての人に10月1日から適用。

日額 5,447円
 時間額 681円

署名を訴えるのは知り合いはもちろんのこと、公園や団地など様々で、「知らない人でも半分は署名してくれる」と言います。「話をしていると小泉『改革』への不安もよく聞かれる」「終戦の焼け野原から頑張ってきたが、不況を理由に自殺で平均寿命が縮まるようなことは許せない」と気持ち語られました。

